

MARCH 30TH, 2024

FRESHERS CAMP

MGU-INTERNATIONAL STUDIES



● WELCOME_TO_MGU





緊急連絡先 Emergency Call

国際学部事務室
Faculty Office
045-863-2200



学生スタッフ代表 Student Staff Representatives

23KS 市川 将也
22KC 河本 優那

持ち物 Things to bring

- 履き慣れた上履き Indoor shoes
- メモ帳（任意） Notes (optional)
- 筆記用具 Pen or pencil
- 昼食と飲料 Lunch and something to drink

△当日学食は利用できますが、営業は行っていないので
昼食は各自持参してください。

You can have lunch at the cafeteria, but you can't buy it there, so
please don't forget to bring your lunch.

- 消毒液（必要であれば） Hand sanitizer if needed
- マスク（任意） Mask (Optional)

しおり作成

22KS 勝山 ゆうき

Reminder!

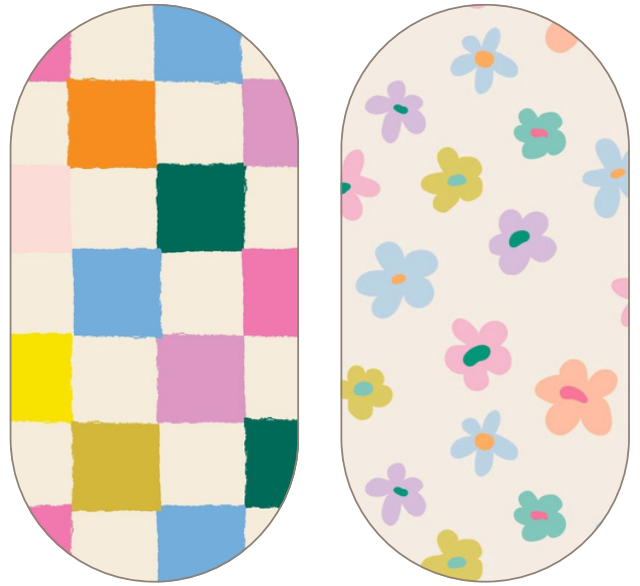
If you have difficulties reading or understanding Japanese, please tell the receptionist in the morning:) We hope this will be a good opportunity to make a new friend!

9:00

SCへボンフィールド集合 **時間厳守!**

「明治学院大学正門」（セブンイレブンの近く）で降りてください
初めて学校に行く場合、バスを利用することをお勧めします!

例年開始時間が押してしまうので、余裕を持って出発するように
お願いします。



TIME SCHEDULE

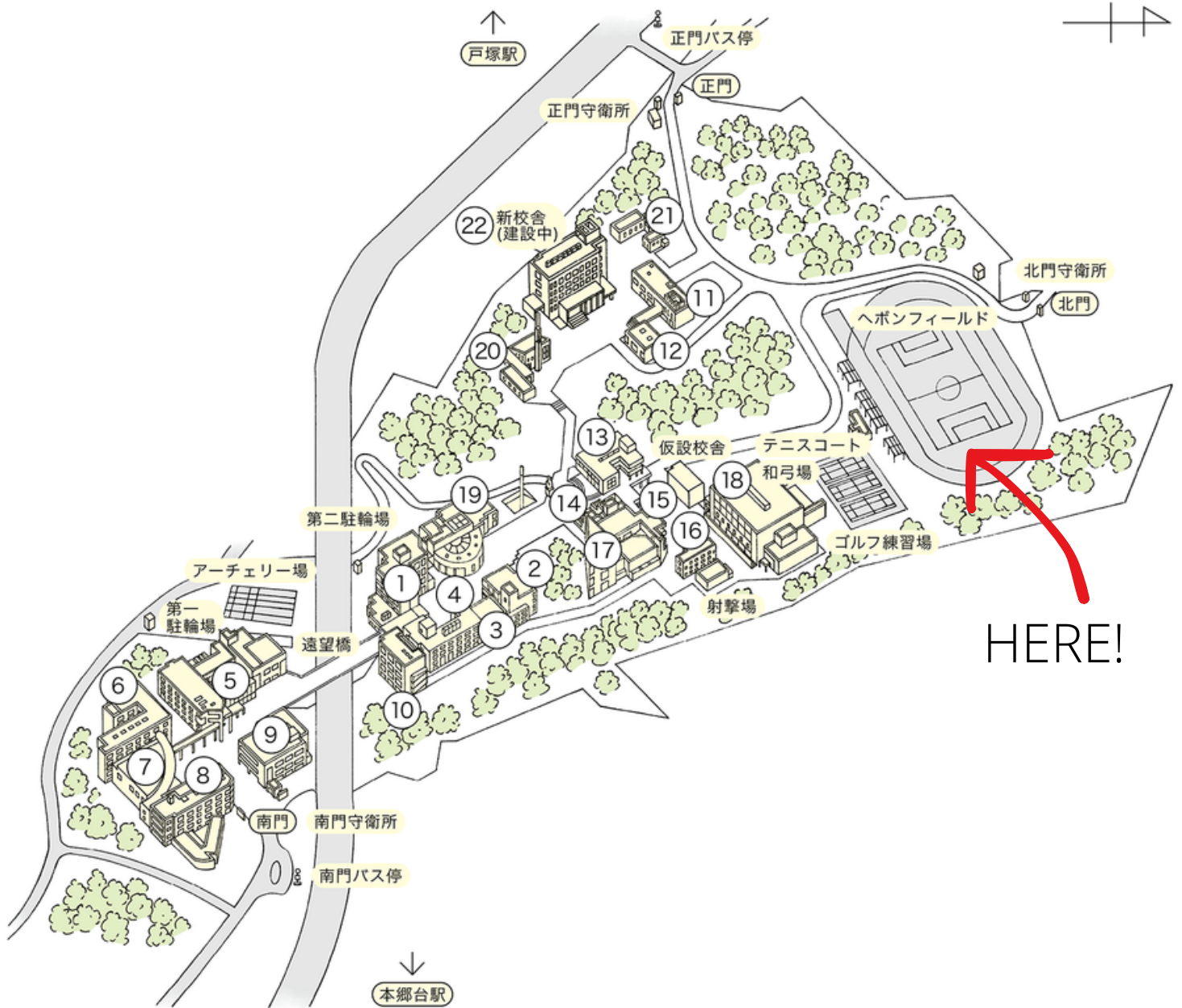


Meet us in front of the hepburn field
***make sure to be on time!**

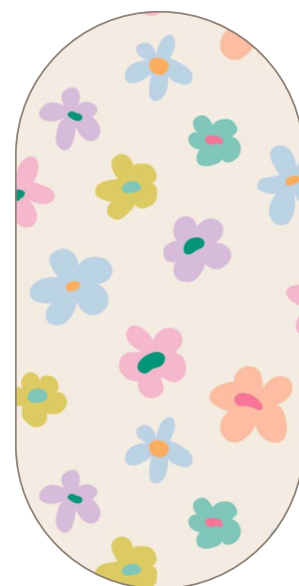
Get off the bus at “明治学院大学正門”, this stop is near the
convenience store, 7-Eleven.
We recommend that you use buses if you aren't familiar
with the route.

Please leave house early so that we can start programs on
time.

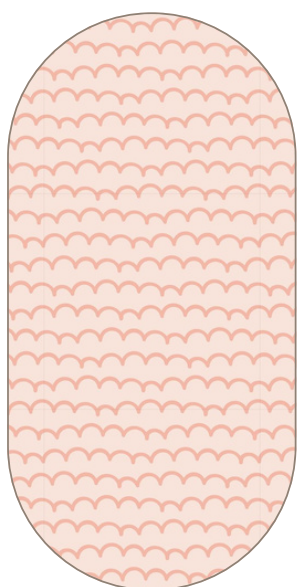
Campus Map



9:45 開会式
10:00-11:50 交流会
11:50-13:00 昼食
13:15-14:45 学問の扉
15:00-16:30 先輩との交流会



TIME SCHEDULE



9:45 OPENING
10:00-11:50 RECREATION
11:50-13:00 LUNCH
13:15-14:45 DOORWAY TO ACADEMICS
15:00-16:30 RECREATION WITH SENIORS

各セクションの説明 Explanation of each section

交流会 RECREATION

晴れの場合：屋外、雨の場合：体育館

- タイムスケジュール（9：45－11：50）
- 9：45－10：00 自己紹介&代表挨拶（15分）
- 10：00－10：45 しっぽとり（45分）
- 10：45－11：25 ジェスチャーゲーム（40分）
（その後時間があればクイズ）

お昼の説明（コンビニ・トイレ・食事場所の案内）

11：40－11：50 表彰式

< 新入生セクション >

チーム：20チームに分かれます。

○イベントの詳細

【自己紹介】

名前、学科、出身、趣味・特技、大学で頑張りたいことなどを話す

【しっぽとり】晴れ☀

- ・グラウンドを4コートに分ける。
- ・1試合 4チームが1コートでプレイ
（1チーム休み/1コート）
- ・ズボンに鈴蘭テープを入れ、鬼ごっこを行う。
どれだけ取れるかが勝負！
- ・1試合3分、ローテーション、移動時間5分
- ・全5試合行います！

★上位者には景品あり★



各セクションの説明 Explanation of each section

交流会 RECREATION

【しっぽとり】雨☔

- ・体育館の3フロアに6: 7: 7に分けて行う
- ルールは晴れの日と同様

【ジェスチャーゲーム】

- ・しっぽとりと同じグループ
 - ・制限時間30分
- ①お題が提示される。
 - ②そのお題からイメージするポーズを「せーの!」で同時のタイミングでとる。
 - ③この時同じポーズだった人数をポイントとし、最終的に一番高い得点を取ったチームが勝ち。

ex.) お題が「猫」の場合、猫を連想するポーズを「せーの!」でとる🐱

→同じポーズをとった人数がポイントになる。

【クイズ】

実施: 時間があれば行う

人数: 20グループ(しっぽとりと同じ)

司会者が色々な分野のクイズを出題するので、
班員で協力し答えを出してください!

回答はSCが代表でGoogleフォームから回答します





LUNCH TIME

11:50-13:00

食堂(1階・2階・3階)、食堂前テラス、
体育館前広場(ウッドデッキも含む)、
図書館までのベンチのみ使用OK

⚠️グラウンドは使用不可

⚠️お昼の営業は行っていないため、
昼食は各自持参してください。



学問への扉

Doorway to Academics

13:15-13:35学問の扉①

13:35-13:40休憩・教授の教室移動

13:40-14:00学問の扉②

14:00-14:05休憩・教授の教室移動

14:05-14:25学問の扉③

-14:45学問の扉終了(目安)

※各教室ローテーション（20分講義+5分休憩）×3セット


TIME SCHEDULE

学問の扉：ローテーション

<KS>

- 630: 岩村先生・森本先生・戸谷先生(担当：中村・吉田)
- 631: 助川先生・岩村先生・森本先生(担当：乳井・大窪)
- 632: 森先生・助川先生・岩村先生(担当：佐竹)
- 633: 青柳先生・森先生・助川先生(担当：勝山)
- 634: 末内先生・青柳先生・森先生(担当：宮坂・市川)
- 640: 大川先生・末内先生・青柳先生(担当：小野寺)
- 641: 榎本先生・大川先生・末内先生(担当：新沼・逸見)
- 642: ベ先生・榎本先生・大川先生(担当：星加・高橋)
- 643: 戸谷先生・ベ先生・榎本先生(担当：関本)
- 644: 森本先生・戸谷先生・ベ先生(担当：青島)

<KC>

- 657: 坂本先生、Ivanova 先生、Vesey 先生(担当：古澤・James)
 - 658: Vesey 先生、坂本先生、Ivanova 先生(担当：河本)
 - 659: Ivanova 先生、Vesey 先生、坂本先生(担当：道家)
- 



先輩との交流会

Recreation with Seniors

15:00-16:30(40分交流会 +5分休憩・入れ替え)×2セット

<KS>

3階→前半キャンパスツアー・後半フリートーク

4階→前半フリートーク・後半キャンパスツアー

<KC>

前半キャンパスツアー・後半フリートーク

<フリートーク>

最後は先輩との交流会になります!

履修登録や単位、学業に関するあれこれや、サークル・ボランティア活動、学生だからこそできる青春について沢山語りましょう!

インスタを交換したりできるチャンスも! ?

TIME SCHEDULE

END OF FRESHERS' CAMP

16:30



16:30-17:00 フリータイム @7号館前
(話したい先輩と自由に交流:サークルなど)

国際学科科目紹介(KS)

基礎講義科目

<平和研究の基礎>

戦争や平和の概念について考え、平和を実現するための条件を探求する

<文化研究の基礎>

ジェンダーや多様な国の文化の概念について考える

<経済研究の基礎>

ミクロ経済やマクロ経済、国際経済について学ぶ

<現代史>

現代の世界の状況について様々な視点から分析し考える

<基礎演習>

少人数で行われる授業：各自で学習するテーマを決めることが可能

これらの授業を通して学びたい専攻を考える。
年次の終わりに、平和研究・環境問題・
多文化社会・比較文化・国際・比較経済・
比較法政の中から深く学習したい分野を絞る

国際学科科目紹介(KS)



<専門外国語>

3年次までの必修科目。(1年次:週3 2年次:週2 3年次:週1)TOEFL のスコアによってクラス分けがされ、英語でのEssayの書き方やPresentationのやり方などを学ぶ。

<第二外国語>

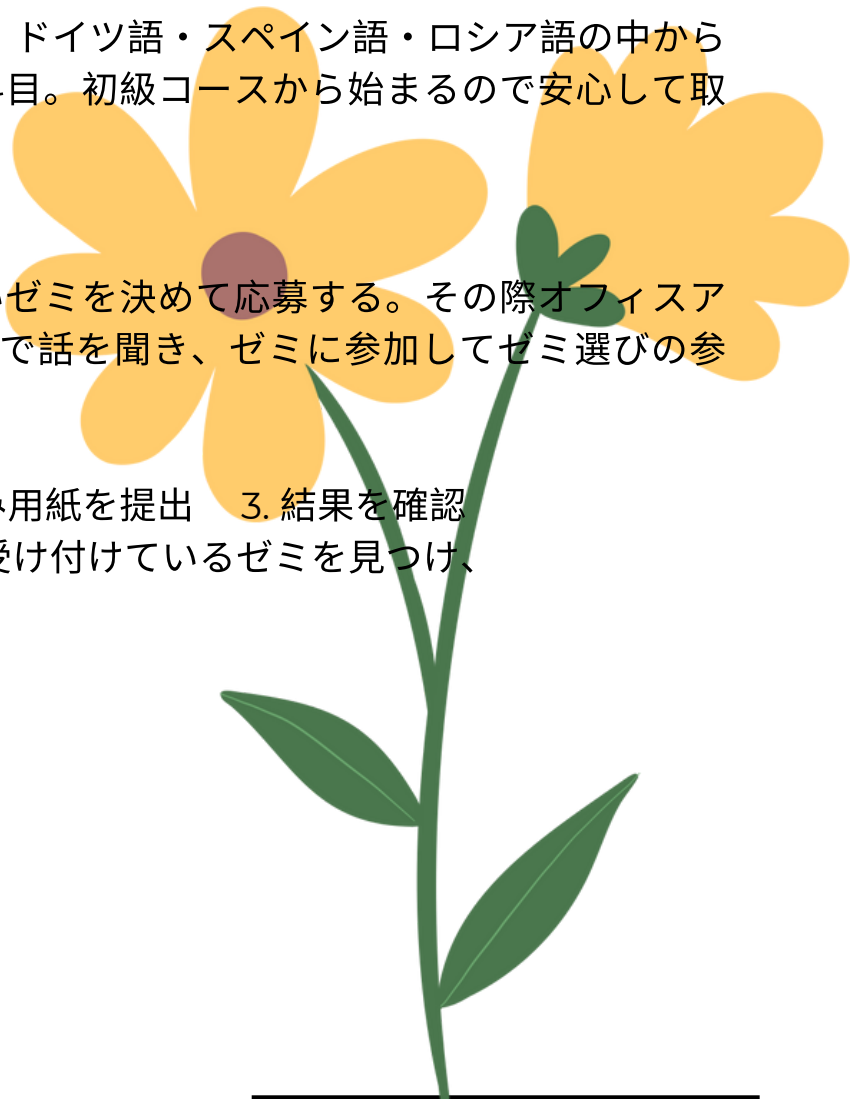
中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語の中から選択する。2年次までの必修科目。初級コースから始まるので安心して取り組むことができる。

<ゼミ>

2年次の春学期に各自入りたいゼミを決めて応募する。その際オフィスアワーを利用して先生の研究室で話を聞き、ゼミに参加してゼミ選びの参考にする。

<ゼミに入るまでの流れ>

1.説明会に出席 2.申し込み用紙を提出 3.結果を確認
第一希望が外れた場合は他に受け付けているゼミを見つけ、1から3までを繰り返す。



GLOBAL AND TRANSCULTURAL STUDIES (KC)

<First Year>

In your first year, you will take Academic English Program (AEP) classes to learn basic reading, writing, and presentation skills that will help you to take electives and lower-division classes. From the fall semester, you will be able to take more electives in the lower-division classes that specialize in economics, politics, culture, and society. You can also prepare to study abroad by focusing on choosing classes that meet the requirements of the school you are thinking of.

<Introductory Seminar>

Seminar that has three rotations of the three main majors of Global Transcultural Studies: politics, culture, and economics.

<Lower Division Classes>

Electives to choose from: economics, culture, society and politics.

<Presentation and Seminar Skills>

Basic presentation skills that can help you in other classes.

<Critical Inquiry Writing>

Learn how to write essays and improve your writing skills.

<Tutorial>

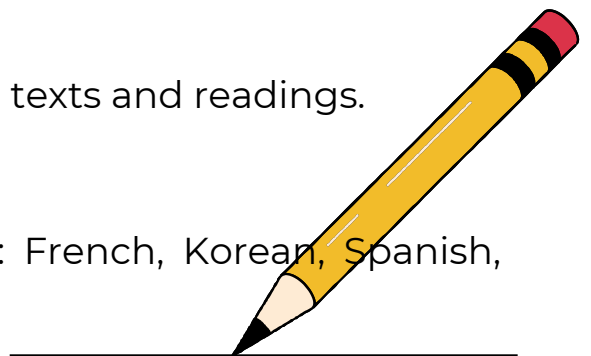
Goes in hand with your Critical Inquiry Writing class, which supports your writing skills.

<Academic Reading>

Learn reading skills useful for high level texts and readings.

<Second Language Classes>

Any language you would like to take: French, Korean, Spanish, Chinese, German



GLOBAL AND TRANSCULTURAL STUDIES (KC)

<Second Year>

In your second year, you will still take AEP classes and lower division classes. However, the fall, you will be able to take upper division classes and start applying for internships and study abroad programs.

<Upper Division Classes>

Economics, culture, society and politics

<Lower Division Classes>

Economics, culture, society and politics

<Presentation and Seminar Skills 2>

Presentation skills focusing on current problems and marketing skills.

<Rhetoric and Research Writing>

You learn various types of essays and writing skills that require rhetorical thinking.

<Tutorial 2>

Goes in hand with you Rhetoric and Research Writing, which supports your writing skills.



青柳 寛/AOYAGI Hiroshi
(比較文化論、トランスカルチャル研究、
Pop/ular文化研究、偶像学、日本研究)

「遊びは文化の原動力である」という観点から自分なりに
精一杯世界と対話し、視野を広げ、知的な耕作に興じながら、
人間らしいあり方や生き方を探究し続けています。

本学でもまた然り=魂あるみなさんと共にこのキャンパスを
＜命の躍動に満ちた遊学の園＞へと
少しでも仕立てていければ幸いです！

With a perspective that “cultural poiesis is a function of
play,” I have been trying to engage in constant dialogues
with our world. I also strive to broaden my scope and to
cultivate my intellect in order to better understand what it
means to be human and to enliven my humanity. On this
campus as well, I’d love to transform our academic
space-time into a “lively estate of edutainment” together
with all of you with a soul to do so!



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



阿部 浩己/ABE Kohki
(国際法、国際人権・難民法、平和研究)

思考はラディカルに、生活はつつましく。
そんな生き方をしたいと念じています。

Think radically & live modestly
- That is how I wish to live out my life.

井手上 和代/IDEUE Kazuyo
(アフリカ地域研究、開発経済学)

高校生の頃にアフリカ地域について幅広く学びたいと思い、
大学ではアフリカ地域文化を専攻しました。
卒業後は金融機関に就職し、一通り社会の荒波に
揉まれたあと、再び大学院で国際協力の観点から
アフリカについて学び直そうと舵を切りました。
それ以来、アフリカ地域研究、開発経済学を
専門に研究をしています。

I have a bachelor's degree in language and culture
(majoring in Swahili) from Osaka University of Foreign
Studies and worked at financial companies in Japan.
After several years of working, I decided to go back to
study Africa again and pursue a master's degree in
international cooperation studies. Since then, I have
specialized in African area studies and development
economics.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



岩村 英之/IWAMURA Hideyuki
(主権国家間の政治・経済統合)

ボサノバの弾き語りをします。声量も技術もなくとも、
例のリズムを紡いでさりげなく歌い込めば、
声とギターだけでブラジルっぽい世界を作り出せる
—ボサノバのそんな手作り感が好きです。

I sing and play bossa nova and samba melodies on the
guitar. Even if you do not have technical skills or the
ability to project your songs, if you quietly sing out the
rhythm, you can create the world of Brazil with just a
guitar and your voice. I like the sense of personal
crafting that comes from bossa nova.

榎本 珠良/ENOMOTO Tamara
(国際関係論、批判的安全保障研究、軍備管理・軍縮研究、
アフリカ地域研究)

軍備管理・軍縮、批判的安全保障研究、紛争研究、
アフリカ政治研究などを専門にしています。

軍備管理の国際会議に参加したり、
アフリカでフィールドワークをしたりしています。

**My research interests cover arms control and
disarmament, critical security studies, conflict studies
and African politics. I attend international conferences
on arms control and conduct fieldwork in Africa.**



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



大川 玲子/OKAWA Reiko
(イスラーム学)

なんとか時間を捻出して、
映画館で映画を見るのが楽しみです。

目下の課題は、良作の的中率を上げることです。

**I enjoy taking the time to watch films in a movie
theater. My present challenge is to improve my “hit
rate” for making good viewing choices.**

久保田 浩/KUBOTA Hiroshi
(宗教史・宗教学、近現代ヨーロッパ宗教史)

「この世には、君以外には誰も進めない道が一つだけある。
それはどこに通じているのだろうか？
問わずに、ただその道を歩め！」
(フリードリヒ・ニーチェ)
皆さんと一緒に、それぞれの道を探し、
その道を開いていきたいと願っています。
“There is in the world only one way,
on which nobody can go, except you:
where does it lead? Do not ask, go take it.”
(Friedrich Nietzsche)
Hopefully, we together will be able find
and pave each way.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



熊倉 正修/KUMAKURA Masanaga
(国際経済学、日本経済論、比較政治経済)

日本の大学を卒業後、金融機関や研究所への勤務、
留学などを経て大学教員になりました。
大学時代は将来の進路を真剣に模索すべき時です。
講義やゼミを通じてその手助けができればと
考えています。

**Born in Tokyo, studied in Tokyo and England, and
worked in Tokyo and Osaka. Use your university days
wisely; I would be happy to help you do so.**

ゴディン・サミュエル/Samuel GODIN
(内容言語統合型学習、コンピューターによる支援教育、
異文化間コミュニケーション能力、デザイン思考、
教育工学、デジタル材料開発)

アメリカのイリノイ州にあるファーマーシティという
とても小さな町で育ちました。日本とアメリカの大学で
教鞭をとったことがあります。趣味はハイキングと
デジタルカメラとフィルムカメラで写真を撮る事です。
I grew up in Illinois, the USA in a very small town called
Farmer City. I have taught at universities in both Japan
and the United States. I love hiking in Japan and I love
taking photos with both digital and film cameras.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



紺屋 あかり/KONYA Akari
(文化人類学、オセアニア地域研究)

Alii!(パラオ語でこんにちは)
Alii! (Hello! in Palauan)

重富 真一 / SHIGETOMI Shinichi
(農村開発論、住民組織論、農業経済学、
社会運動論、タイ地域研究)

若いときに東北タイの貧しい農村で一年間を
過ごしました。そこで起きるさまざまな出来事から、
「これはいったい何なんだ？」
と考えたのが私の研究の出発点です。
My scholarly works are based on
my experience of staying in a rural
community of the northeastern Thailand
when I was young.
‘Think from the grassroots’
is my motto of research.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



助川 哲也 / SUKEGAWA Tetsuya
(逆境の文学、苦悩の哲学、ロック・ポップス史)

作家・歌手としてはドリアン助川という名前で
活動しています。世界の文化と希望と一緒に
学んで行きましょう。

I have a professional name “Durian Sukegawa”
as a novelist and a singer.

Please open a door with me to study for the
worldwide culture and progressive hopes.

未内 啓子/SUEUCHI Keiko
(国際政治学、国際政治経済論、カナダ政治経済論)

趣味 散歩
Hobby walking



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



孫 占坤/SUN Zhan Kun(国際法)

本業は国際法の研究ですが、(無農薬)野菜作り、
料理作りにも興味があります。

水餃子づくりをマスターしたい方に
「技」を「伝授」します!

Although international law is my main area of work,
I have an interest in growing pesticide-free
vegetables. I will pass on my skills to those
who want to master the art of making gyoza!



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



趙 星銀/CHO Sungeun
(日本政治思想史)

政治思想の歴史を研究しながら、
暇があれば映画を観ます。
I study the history of political ideas.
I also like watching movies.

戸谷 浩/TOYA Hiroshi
(東欧史、特にハンガリー近世史)

東欧を中心としたヨーロッパ史を教えています。
人も、街も、食も好きなので、歴史学を
学び始めました。多様だけど、何か統一感もある
ヨーロッパに最も惹かれ、研究対象としました。
訪れた街や村は数知れず。

二十歳の頃からの「旅」は、まだ終わりません。
At Meiji Gakuin University, I teach European history.
I started to learn history, because I love people,
towns, and foods, too. Among many choices,
Europe, which has various cultures but is unified,
attracted me most. Not only in Europe, but also all
over the world, I have visited a lot of towns and
villages up to now, but my journey started when I
was 20 years old, and it has not ended yet!



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



中田 瑞穂/NAKADA-AMIYA Mizuho
(東中欧比較政治史・比較政治)

ヨーロッパの小国、チェコスロヴァキアの政治史と、
チェコスロヴァキアが分裂してできた
チェコの政治を研究しています。

I have focused on comparative political
history in East-Central Europe, especially in
Czechoslovakia and the Czech Republic.

My current research is in the area of
democracy and the rule of law,
party system changes and the
European integration.

浪岡 新太郎/NAMIOKA Shintaro
(政治学、平和研究)

好きなものを好きと言うのが恥ずかしくて、
嫌いと言うことが多い子供でした。
もう、完全におじさんですが、自分の中に
子供が残っていることを感じます。
みんなが自分に徹底的にこだわることで、
自分から自由に生きることができると良いなと
思っています。慣れない状況で、
自分があたふたするのを見るのが好きです。

As a child I was too shy to say what I liked, so I said
that I disliked something even though I actually liked
it. I am now fully in middle age, but I feel that child
remains inside me. I think it is fine for each of us to
live freely and be completely true to ourselves. I like
to see myself rushing about when confronted by
unfamiliar circumstances.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。

野口 久美子/NOGUCHI Kumiko
(先住民研究、アメリカ史)

私はカリフォルニア州のとある先住民保留地では
「Kele(キーレ)」と呼ばれています。
ヨクート語で「雲を呼ぶ人」という意味です。
その名の通り、私が戻ると乾燥したこの地に
必ず雨が降るのだそうです。
いつも、びしょ濡れになりながら、
人々の「語り」を集めています。

I am called “Kele” in a certain Indigenous
community in California. In Yokut language,
it means “the person who calls the clouds.”

As the name suggests, when I return,
it will always rain in their dry land.
I’m always getting soaked and
collecting people’s “narratives.”



林 公則/HAYASHI Kiminori
(環境経済学、環境政策論)

ミヒャエル・エンデ、ルドルフ・シュタイナー、
ヘルマン・ヘッセの本が好きです。

最近は、U理論が面白いなと思っています。

エニアグラムだと、タイプ2「助ける人」のようです。

I like books by Michael Ende, Rudolf Steiner, and
Hermann Hesse. Lately, I've been interested in
U-Theory. According to the concept of the
Enneagram, I seem to be a Type 2 "The Helper".



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



半澤 朝彦/HANZAWA Asahiko(国際関係史、国際関係論
「帝国」研究、グローバル・ヒストリー、イギリス脱植民
地化史、国際組織史「五感の国際関係論」、国際政治と
音・音楽、文化と国際関係、ソフト・パワー)

みなさんと歴史や音楽の話しをするのを
楽しみにしています。

My passion is in history and music.

I look forward to talking about them with you all.

平山 恵/HIRAYAMA Megumi
(国際保健、社会開発)

奈良県で生まれ育つ。小学校 2 年まで
分校でのびのび育つ。それが影響したのか
25 歳以降 は約30年、国際協力の現場で仕事をする。
また、国内では地域社会とその地域に住む人々の
活性化に従事する。趣味はパイプオルガン演奏。
I was born and raised in Nara Prefecture, and up to
the second grade I had a carefree life at a small
branch school in the countryside. Due to that
influence, from the age of twenty-five, I spent thirty
years in the field to work in international cooperation
programs. In Japan, I am engaged in activating
regional society and the people who live in those
areas. My hobby is playing the pipe organ.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



ベジュンソブ/BAE Junsub
(福祉国家、社会政策、韓国地域研究、政治経済学)

韓国の大学を卒業後、ワーキング・ホリデー、
交換留学、大学院進学などを経て
大学教員になりました。旅行と音楽が好きです。
After completing my degree at a university in Korea, I
embarked on a working holiday, followed by study
abroad opportunities, and then pursued further
education in graduate school. This journey led me to
my current role as a university lecturer. Outside of my
academic pursuits, I have a passion for travel and a
deep appreciation for music.

森 あおい/MORI Aoi
(アメリカ文化・文学研究、
異文化コミュニケーション)

“Tomorrow is another day.”
失敗を恐れず、前向きに進みましょう。
“Tomorrow is another day.”
Move forward without fear of failure.



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



森本 泉/MORIMOTO Izumi
(人文地理学、ネパール地域研究)

ヒマラヤに位置する国、ネパールとその人々について
研究しています。

I research the Himalayan country of Nepal
and its people.

頼 俊輔/RAI Shunsuke
(グローバル化の政治経済学、
途上国経済、一次産品開発)

趣味は、自宅に設置した焙煎機で世界各地の
コーヒー豆を焙煎することです。
高地か低地か、産地の違いはもちろん、
豆の精製・乾燥方法、焙煎度合いによっても
大きく味が変わってきます。
コーヒー好きの方、研究室でお待ちしています(笑)。
My hobby is to roast green beans of coffee by
roasting machine at home. Anybody who loves
coffee is welcomed to drop in my office!



Faculty Introductions (KS)

2024年度 春・秋に新たに着任される教員数名は含まれておりません。



李 相佰/Lee Sangbec
(日本経済、金融史)

韓国、タイ、日本、ドイツ、イタリア、アメリカを
転々として生きてきました。
研究をしたり、投資をしたり、
趣味で油絵を描いたりします。

I lived in and moved around many countries
such as South Korea, Thailand, Japan,
Germany, Italy, and the United States.

I do research, invest, and
create oil paintings as a hobby.

合場 敬子/AIBA Keiko
(Gender Studies, Gender and Body)

ジェンダーの様々な側面について研究してきましたが、2002年からはジェンダーを変容させるものとしての女子プロレスラーの身体に注目し、2016年からは美容実践によって加工されない女性身体が、社会から受け入れられるための理論と実践について考察しています。

I have researched various aspects of gender. Since 2002 I have focused on the bodies of women professional wrestlers in Japan as one type of physical transformation of gender. Since 2016 I have been thinking of relations between gender and the body, especially theories and practices, which enable the social acceptance of women's bodies that are not transformed by beauty work.



Faculty Introductions (KC)

Some faculty members who will join us from Spring and Fall 2024 are not included. Please check <https://fis.meijigakuin.ac.jp/belongs/kc/> for more information.

李 嬋娟/LEE Sun Youn

(Labor Economics, Applied Micro-Econometrics, Behavioral Economics)

個人のスキルや子どものころの経験が、賃金や昇進などの労働市場での成果や、互惠性などの行動特性、個人の幸福にどのように影響を与えるかについて実証分析をしています。具体的には、非認知能力と英語の言語能力などの影響を分析し、その他には留学などを通じての多文化経験や無意識に経験する文化の影響も注目してきました。

研究で自分が感じた面白さとワクワク感を
授業で学生と共有することが楽しいです。

I study labor economics and behavioral economics, hoping that my empirical research contributes to our understanding of how an individual's skill-set, his/her (childhood) education, and their experiences affect later-life outcomes that include earnings, employment, promotion, behavioral outcomes, and subjective well-being. I will never forget my experiences in my first year at Meigaku. When students finally understood how to use EXCEL to do some basic calculations and a regression analysis, they began smiling and clapping, because they experienced the true joy of "learning." I am very grateful when the excitement of learning and researching economics and quantitative methods is fully conveyed to students during classes.



イワノワ・ゲルガナ/Gergana IVANOVA
(Japanese Literature, Art History, Gender Studies)

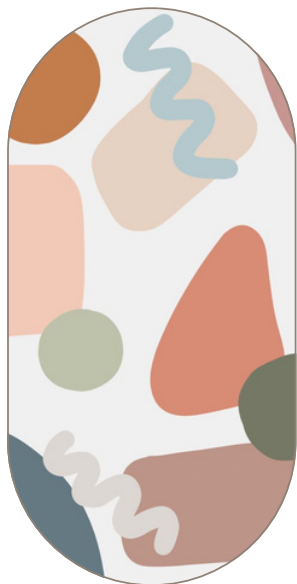
私は、ブルガリアで生まれ育ち、カナダ、アメリカ、日本で研究者として長年活動してきました。皆さんが日本文学・文化について学び、人生に欠かせないスキルを身につける手助けができることを幸いに思います。

Born and raised in Bulgaria, I have spent many years studying and working in Canada, USA, and Japan. I love sharing my knowledge of Japanese literature and culture with students and helping them develop important life skills.



Faculty Introductions (KC)

Some faculty members who will join us from Spring and Fall 2024 are not included. Please check <https://fis.meijigakuin.ac.jp/belongs/kc/> for more information.



ヴィーシー・アレキサンダー/Alexander VESEY (Department Chair • Japanese Buddhist Cultural and Social History)

私は2003年にプリンストン大学で博士課程を終了して
2008年に明治学院に着任しました。

I completed my Ph.D. at Princeton University in 2003 and I came to Meiji Gakuin in 2008 as a member of KS. My main area of interest is the cultural and social history of Japan's temples and shrines, but when I transferred to KC, I also started to teach global history and modern East Asian history. My hobbies are photography and walking/hiking, so my favorite activity is to explore and photograph temples and shrines that are new to me.

I am on Instagram, so if you want to see such photos, please let me know. In 2023 I became the Department Chair (学科主任).

Your Introductory Seminar teachers will be your academic advisors for the spring semester, so you should ask them about study abroad and other kinds of daily curriculum issues.

If you have other kinds of issues, then please contact me. Welcome to Meigaku!

奥村 恵子/OKUMURA Keiko

(Japanese language education, Language education for Japanese background speakers and Japanese for foreign care workers)

これまで、家族と一緒にいくつかの国や地域で暮らしてきました。それぞれの場所で、多様な背景を持つ人々の素晴らしい出会いがあり、貴重な異文化体験をしました。そうしているうちに、大好きな日本語を通して世界の人々とつながることができる素敵な仕事と出会いました。そして、今ここにいます。
Over the past years, I had lived in several countries and regions with my family. In each place, I had wonderful encounters with people from diverse backgrounds and had valuable cross-cultural experiences. Eventually, I came across an excellent job that allows me to connect with people all over the world through my beloved Japanese language, and I am here now.



Faculty Introductions (KC)

Some faculty members who will join us from Spring and Fall 2024 are not included. Please check <https://fis.meijigakuin.ac.jp/belongs/kc/> for more information.



カレ・プラジャクタ/Prajakta KHARE
(Social Entrepreneurship, Social capital, Innovation and Entrepreneurship)

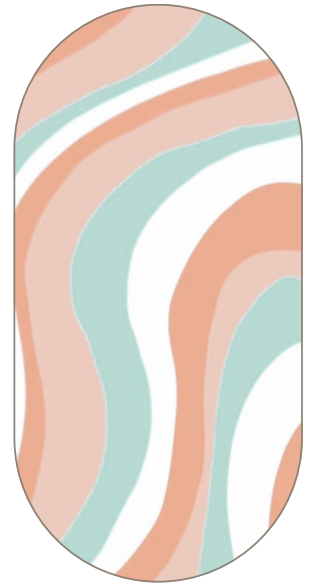
私はインドで生まれ育ち、2011年から日本で働いています。
2019年に明治学院に着任し経済系とアントレプレナーシップ関係の科目を担当しています。
私は発展途上国における様々な経済的と社会的問題に関心を持ち、社会的起業家と呼ばれる人々がこれらの問題をどのような方法で解決しようとしているかについて研究しています。

I was born and raised in India and have been working in Japan since 2011. I joined Meiji Gakuin in 2019. I like to read and research about developmental and social problems and about how some people, called 'social entrepreneurs' try to solve these problems in an innovative way. At GTS I teach courses in economics and entrepreneurship.

ギル・トマス/Thomas GILL
(Social anthropology)

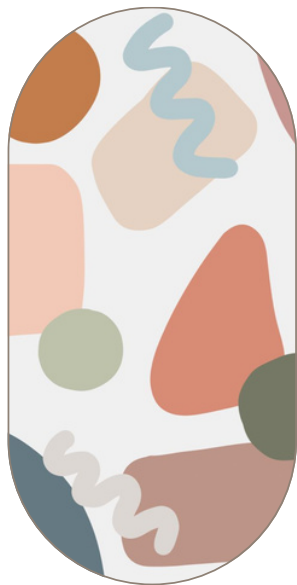
1960年英国生まれ。元ジャーナリスト。
京都文教大学人間学部文化人類学科、
東京大学社会科学研究所経由で、
2003年から明治学院大学国際学部。
社会人類学のフィールドワークを強調する研究方法を使う。
ずっと日本社会の底辺に関心があり、
横浜・寿町の「ドヤ街」に暮らす日雇い労働者や
ホームレスな男たちの社会・文化を研究。
2011年の東日本大震災以降福島原発事故の
被災者たちも研究テーマにしている。

Born in Portsmouth, UK in 1960. Read English at Kings College, Cambridge, then went to Japan in 1983. Worked as an English teacher and journalist, then returned to the UK for postgraduate studies. Got my doctorate in 1996, and have worked in Japanese academia ever since: at Kyoto Bunkyo University, then at University of Tokyo (Institute of Social Science), before arriving at Meiji Gakuin in 2003. My research is fieldwork-driven and focuses on urban poverty and casual labour. I am also researching victims of the Fukushima nuclear disaster.



Faculty Introductions (KC)

Some faculty members who will join us from Spring and Fall 2024 are not included. Please check <https://fis.meijigakuin.ac.jp/belongs/kc/> for more information.



坂本 隆幸/SAKAMOTO Takayuki
(Comparative political economy of industrial democracies,
Comparative welfare states and Political science)

私は、先進諸国の比較政治経済を勉強しています。
現在の研究プロジェクトは、欧米などの先進国で使われている
「社会投資政策」が、社会の豊かさや、安定した雇用、
所得の平等などを産み出すことに成功しているかどうかを
分析するものです。教育、家族支援、女性政策、
積極的労働市場政策などの社会投資政策を分析しています。

I study the comparative political economy of industrial countries. My current research project investigates the social and economic effects of social investment policies pursued by different welfare states of Europe, North America, and Oceania. Governments hope that social investment policies will (1) promote productivity and economic growth by creating high-skilled labor forces that can adapt to the imperatives of the new knowledge economy and technological advances, and (2) meet the need to respond to new social risks, such as single-parent families and workers in unstable, precarious employment. I investigate whether these policies help achieve the goals of economic growth, employment, and equality. The social investment policies I examine are education, family support, labor market programs, and redistribution, among others.

ミッドフォード・ポール/Paul MIDFORD
(Political Science, International Politics, Japanese
Foreign Policy and Renewable energy)

3大陸:アジア(日本)、北米(米国)、ヨーロッパ(ノルウェー)で教えた経験を、文化や自然環境など、多様な背景を持つ学生への教育に活かしてきました。
I have taught on three continents, Asia (Japan), North America (the US), and Europe (Norway), and apply my experience teaching a diverse range of students in very different cultural and physical environments.



Faculty Introductions (KC)

Some faculty members who will join us from Spring and Fall 2024 are not included.
Please check <https://fis.meijigakuin.ac.jp/belongs/kc/> for more information.





アンケートにご協力お願いします！

Let's capture the moment together:)
最後に集合写真撮ります！

